

神奈川県立神奈川工業高等学校（定時制）グランドデザイン

スクール・ミッション

- 定時制の課程単位制で複数の学科を設置する高校として、生徒の多様な特性や地域・学校等の実情を踏まえ、多様な選択科目から生徒が選択履修することができる単位制の利点を生かしながら、普通科においては、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるよう、学力の育成、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。
- 工業科においては、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人の育成をめざし、専門性の向上を図るとともに、産業界等との連携による実践的・体験的学習を推進し、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるため、学力の育成、専門的な技術の習得、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。
- 豊かな社会性を身に付け、主体的に学習に取り組むことができる人材の育成をめざし、生徒一人ひとりの多様な学習ニーズに応じた教育活動を展開するとともに、産業界の求める人材の育成をめざし、実践的・体験的な学習活動を通じた工業教育を展開する。
- 学科間の連携を深め、学科相互の関連を図る学習など、生徒一人ひとりの興味・関心に応じた幅広い教育活動を展開するとともに、社会の変化や産業界の動向を踏まえ、これからの時代に求められる資質・能力を育成するために、ICT機器の活用も含めた、実践的・体験的な学習活動など、教育活動の充実に取り組む。

学校教育目標

- 人間性豊かな人材の育成をめざす
- ・組織的な授業改善とICTの活用を通して、生徒の学習意欲を高め、基礎的・基本的な知識・技能の定着と、それらを活用する力の育成を図る。
- ・他者を尊重し協働できる態度を育むとともに、社会に主体的に関わろうとする意欲や責任感を養う。
- ・一人ひとりの能力や適性に応じたきめ細かな指導を行い、進路実現に向けた意識の向上と実践力の育成を図る。
- ・地域や産業界との連携を強化し教育活動の充実を図るとともに、防災力の向上や不祥事防止に取り組み、信頼される学校づくりを推進する。

グラデュエーション・ポリシー

- 普通科では、自分自身の適性に応じた進路を実現するため、豊かな社会性を身に付け、主体的に学習に取り組む姿勢を養います。
- 工業科では、自分自身の適性に応じた進路を実現し、人間性豊かな工業人として社会に主体的に関わろうとする意欲を持ち、職業的に自立する人材を育成します。
- 社会の変化や産業界の動向を踏まえ、ICT機器の活用も含めた、実践的・体験的な学習活動を行うことで、これからの時代に求められる資質・能力を育成します。

カリキュラム・ポリシー

- 普通科では、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるため、年次進行型を基本とする単位制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組みます。
- 普通科では、学科併置による幅広い教育の展開を強みとし、学科間の連携を深め、学科相互の関連を図る学習を可能とした教育課程の編成を行い、生徒一人ひとりの興味・関心に応じた教育活動を実践します。
- 工業科では、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるため、年次進行型を基本とする単位制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組みます。
- 工業科では、工業に関する専門教科・科目を中心に、専門性の向上を図る教育に重点を置いて、産業界との連携を図りながら、共通教科・科目の適切な設置に基づいて教育課程の編成を行います。
- すべての教科等において、学び直しや生徒が互いに学び合う学習活動を取り入れるなど、知識・技能の習得のみならず、生徒が主体的に学ぶ意欲を高め、それらを活用する力を育む魅力ある授業を展開します。
- 日本語が十分でない外国につながる生徒を対象とした日本語支援科目の充実を図るために、少人数での授業や学習内容の習熟の程度に応じた個別最適な学びを展開します。

アドミッション・ポリシー

- 社会にはたくさんの考え方があるということを理解して、他人の立場に立って考えたり、相手の意見をしっかりと聞くことのできる生徒。
- 自らの感情をコントロールして、さらに今後の成長のために進んで学ぼうとする気持ちのある生徒。
- さまざまな課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決しようとする気持ちのある生徒。
- 普通科では、学科併置の強みを生かし、多角的な視点から進路を選択・実現できるよう自らが進んで情報を収集し、適切に活用しながらキャリアを形成できる生徒。
- 工業科では、自分の進路に沿った知識・技術を習得し、多角的な視点から進路を選択・実現できるよう自らが進んで情報を収集し適切に活用しながらキャリアを形成できる生徒。

	教育課程・学習指導	生徒指導・支援	進路指導・支援	地域との協働	学校管理・学校運営
目標	・生徒一人ひとりの多様な学習歴や実態に応じた教育課程を編成し、基礎的・基本的な知識・技術の確実な定着を図るとともに、主体的・対話的で深い学びを通して、課題解決に向けて粘り強く取り組む力を育成する。	・基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成を図るとともに、多様な背景をもつ生徒一人ひとりを尊重し、安心して学び続けることができる環境を整えることで、自己肯定感や社会性を育成する。	・生徒一人ひとりが自己の適性や将来像を見据えて主体的に進路を選択できる力を育成し、社会的・職業的自立に向けた進路実現を図る。	・地域や産業界との連携を通して、地域に開かれ信頼される学校づくりを推進するとともに、生徒が社会との関わりの中で学び、社会に参画しようとする意識を育成する。	・安全で安心な教育環境を確保するとともに、透明性と信頼性の高い学校運営を実現し、教職員が協働して教育活動の質の向上に取り組む組織づくりを推進する。
主な方策	・ICTの効果的な活用や学び直しの機会の充実、協働的な学習の導入をすすめるとともに、教科横断的な視点を取り入れた授業改善を組織的に推進し、指導と評価の一体化による授業の質の向上を図る。	・教育相談体制の充実を図り、SC・SSW等の専門人材や関係機関との連携を強化するとともに、情報共有に基づく組織的な支援を行い、早期発見・早期対応によるきめ細かな生徒支援を推進する。	・入学時から卒業までを見通した体系的なキャリア教育を推進し、ガイダンスや体験活動、個別面談の充実を通して、多様な進路に対応したきめ細かな指導と継続的な支援を行う。	・地域資源を活用した実践的・体験的な学習の機会を拡充するとともに、企業や関係機関との連携体制を整備し、時間的制約を踏まえた柔軟な連携方法を工夫することで、継続的な協働活動を推進する。	・不祥事防止の徹底や適正な会計処理の確保、防災・安全管理体制の充実を図るとともに、ICTや校務支援システムを活用した業務の効率化と情報共有を推進し、教職員の働き方改革と組織的な学校運営の強化を図る。

校訓・沿革・伝統

1911年（明治44年）5月10日創立。神奈川県で最も古い工業高校。校舎は地上10階建。令和8年度に単位制普通科が新設され、普通科・工業科（機械科、電気科、建設科）の4学年、2学期制の定時制の工業高校である。（全日制併設）

特色のある学校行事等

体育祭（6月）、文化祭（10月）、7つの委員会、体育系9部活、文科系9部活があり、教員と協力し、生徒が主体となって取り組んでいます。